

# 脳科学者から見た認知症

## 母を介護した脳科学者が語る 記憶を失うとその人は“その人”でなくなるのか?



東京大学大学院  
特任研究員  
**恩藏 純子 氏**  
(脳科学者)

1979年神奈川県生まれ。脳科学者。専門は自意識と感情。2007年東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻後期博士課程修了(学術博士)。2025年現在東京大学大学院総合文化研究科特任研究員。金城学院大学、早稲田大学、日本女子大学非常勤講師。

同居する母親が2015年にアルツハイマー型認知症と診断され、以来娘として生活の中で表れる認知症の症状に向き合ってこられる。一方で母親を脳科学者として客観的に分析することで、医者／患者、科学者／被験者という立場で研究するのとは違った認知症の理解を持たれ、情報を発信している。2023年1月には母親との家での時間に密着したドキュメンタリー、NHKスペシャル『認知症の母と脳科学者の私』が放映された。現在は、重度認知症のある人の豊かな感情と高齢者の創造性に強く関心を持たれている。

著書に『脳科学者の母が、認知症になる』(河出書房新社)、『感情労働の未来』(河出書房新社)、共著に『なぜ、認知症の人は家に帰りたがるのか』(永島徹氏との共著、中央法規出版)、『認知症介護のリアル』(信友直子氏との共著、ビジネス社)、『化粧する脳』(茂木健一郎との共著、集英社)、訳書に『ドーパミン中毒』(新潮社)、『生きがい』(新潮社)、『顔の科学』(PHP研究所)などがある。

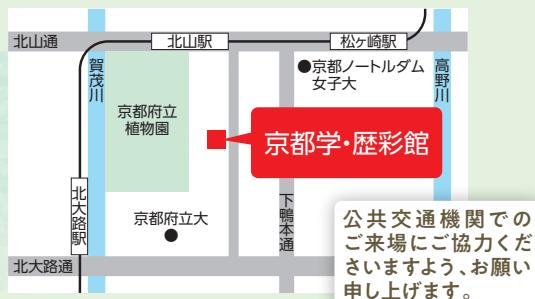
令和8年

2月7日 土

13:30~16:00(受付13:00)

ところ

京都府立京都学・歴彩館 小ホール  
(京都府京都市左京区下鴨半木町1-29)



定員

100名

対象

医師、多職種

申込み

ホームページ申込みフォームまたはFAXより  
お申し込みを受け付けております。

参加費  
無料



第1部 講演 (13:30~15:00)

### 「脳科学者から見た認知症」

講師 東京大学大学院特任研究員 恩藏 純子 氏

第2部 ディスカッション (15:00~16:00)

受講修了者には京都府から修了証書が発行されます。

(医師のみ)

◆日医生涯教育カリキュラムコード

13. 医療と介護および福祉の連携：1 単位

29. 認知能の障害：1.5 単位

# 令和7年度 認知症対応力向上多職種協働研修会 京都北・上京東部・西陣

## ホームページ申込フォーム

右記の二次元コードをお持ちのスマートフォンで読み取ると、  
申込フォームのページが表示されます。



または

検索エンジンにて「京都 在宅医療」で検索し、  
当センターホームページからもお申込みできます。

京都 在宅医療



ご不明点がございましたら当センターまでご連絡ください。

## FAX

下記、受講申込書をFAXでも受け付けております。ご都合の良い方法でお申込みくださいようお願い申し上げます。

職 種		所属地区	
氏 名		所属機関名	
メールアドレス			
電話番号		FAX番号	
受講決定通知・ 修了証書 送付先	所属機関 ・ 自宅 〒 一 TEL:		※送付希望先を選択ください

**注意事項** ▶定員は100名です。人数を超過した場合にはご連絡いたします。▶後日、受講決定通知を郵送いたします。

京都府医師会 在宅医療・  
地域包括ケアサポートセンター

# FAX:(075)354-6097

問い合わせ

京都府医師会 在宅医療・地域包括ケアサポートセンター

TEL:075-354-6079 FAX:075-354-6097 メール:zaitaku@kyoto.med.or.jp